

## 関市水道事業経営戦略 第 8 章

### 経営戦略の事後検証、更新等に関する事項

#### (1) 経営戦略の事後検証

この経営戦略では、これ以外の他の計画との整合性や各指標における目標値の達成状況を確認し、毎年その内容についての検証をする。

他の計画との間に相違点がある場合や、目標値の達成が遅れているような場合にはその原因を解明し、より正確で現実的な計画となるように事後検証を行い、PDCA サイクルにより常に更新し続ける必要がある。

#### (2) 経営戦略の更新

経営戦略を実際の経営に役立てるには、定期的に見直す必要があるため、毎年更新することとする。このことで事業の実績や進捗状況、経営の健全性、関市水道事業としての方向性や方針を確認することができる。その結果として、最も具体性が高く、すべての計画の基礎となりうるものとしなければならない。そのためには、以下に示す計画や翌年度の予算はこの経営戦略の内容を踏まえたものとし、また逆に経営戦略にとってもこれらの内容を無視することはできない。

##### ①第 5 次総合計画 実施計画

関市では第 5 次総合計画を作成しており、そのうちの実施計画では 3 年間の事業の実績状況、進捗状況や経営状況などを踏まえつつ、中期的、短期的な数値指標を具体的に示している。

##### ②長期財政計画

長期財政計画は実施計画を長期的な観点から実現するために 10 年間の財政見通しを検証しているものである。計画の対象となる期間がほぼ重なるため、経営戦略の収支計画とほぼ同じ内容になることになる。

##### ③予算・決算

予算および決算はこれまでの実績と直近の予定を表しているので、関市の水道事業の実態そのものを示している。すべての計画は予算・決算の数値をベースに作られており、この経営戦略も例外ではない。

## 第 8 章

### ③経営比較分析表

事業の実績から経営状況の分析を行うものであり、この分析結果の良し悪しはそのまま関市水道事業の経営状況を示している。決算統計の数値から総務省が作成し毎年度末に送られてくる。ここに示された指標は、今後の目標値の設定や実績の確認のために使用する。

### ④その他の計画

大規模な事業については事前に基本計画、実施計画、実施設計が策定され、事業費の算出根拠、実施時期など計画の内容を見通すものである。しかし、今後は、この経営戦略で水道事業全体における位置づけ、優先順位を確認してからこれらの事業を始動させることとする。

平成 29 年度には水安全計画と耐震化基本計画が策定された。

平成 30 年度にはアセットマネジメントの策定と導入を計画している。

### (3) 経営戦略の報告、周知、更新

この経営戦略は完成後、議会へ報告するものとする。その後、上下水道経営審議会においてもその内容を報告し、利用者等に対してはホームページ等で公開することとする。また、その後の更新は議会への報告を除き同様とする。